

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ワンセルフとみおか			
○保護者評価実施期間	2025 年 1月 14日		～	2025 年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○従業者評価実施期間	2025 年 1月 14日		～	2025 年 2月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 2月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の子どもに対するアセスメントを適切に行い、保護者の意向を反映した放課後等デイサービス計画を作成している。 ・支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が実施されている。 ・活動プログラムが固定化しないよう、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの状況に応じた個別活動の増加に向けて職員間で話し合いを行っている。 ・支援計画の見直しを定期的に行い、モニタリングの結果を反映させている。 ・絵カードを活用し、子どもが自己決定できる機会を提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社内独自のアセスメントツールの開発・活用を進め、支援の質を向上させる。 ・活動プログラムのバリエーションをさらに増やし、子どもが新しい経験を積める機会を増やす。 ・定期的に外部専門家のアドバイスを受け、支援の専門性を高める。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や連絡ノートを活用し、子どもの状況を保護者と共有している。 ・子どもや保護者からの相談に適切に対応し、必要な助言や支援を行っている。 ・「個別支援計画書」の説明を行い、保護者の理解と同意を得たうえで支援を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意向を把握する機会を設け、業務改善に反映させている。 ・子どもの発達状況や課題について、保護者と共通理解を持つための面談や助言の機会を確保している。 ・事業所の活動内容や行事予定について、定期的な通信やSNS等を活用して発信している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向けの家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の機会を増やす。 ・保護者同士の交流の機会を設け、子育ての悩みを共有できる場を提供する。 ・保護者向けアンケートを実施し、意見を取り入れながら支援の質を向上させる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や家族に周知している。 ・定期的に避難訓練を実施し、非常災害への対応力を高めている。 ・職員の資質向上のため、法人内外の研修機会を確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの共有を徹底し、再発防止策を職員間で話し合っている。 ・業務継続計画(BCP)に基づき、非常時の対応を職員全体で確認している。 ・パート職員にも研修機会を提供し、全員のスキルアップを図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の内容を実践的なものにし、職員が具体的な対応方法を学べるようにする。 ・災害時の対応マニュアルを見直し、停電時や通信障害時の対応についても明確にする。 ・外部の専門家を招いて研修を行い、最新の知識や技術を取り入れる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療・福祉・教育機関との連携が十分でなく、支援が事業所単独になりがち。 ・地域イベントへの参加が少なく、事業所の活動が地域に十分認知されていない。 ・他の放課後等デイサービス事業所との情報共有が限定的で、支援の幅が狭くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他機関との連携に向けた担当者や窓口が明確でなく、関係構築が進んでいない。 ・これまで地域のイベントやネットワーク会議への参加が少なく、外部との交流機会が不足している。 ・他事業所や関係機関と連携するための仕組みが整っておらず、情報共有が難しくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域イベントへの参加や、事業所内での地域向け行事を企画し、地域との関係を深める。 ・他の事業所との情報交換会を定期的開催し、成功事例の共有を進める。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流機会が少なく、家庭と事業所の連携が限定的になっている。 ・保護者向けの相談窓口が明確でなく、意見や要望が十分に反映されていない。 ・家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の実施が少なく、家庭での支援力向上が課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の業務が多忙であり、保護者向けのイベントや研修を計画する時間が取れない。 ・保護者からの意見を収集する仕組みが整備されておらず、意見が業務改善に活かしきれていない。 ・保護者自身が情報を得る機会が少なく、家庭での対応について十分な支援が提供できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会や交流イベントを定期的開催し、保護者同士がつながる機会を増やす。 ・相談窓口を明確にし、保護者からの意見を収集するアンケートや意見交換会を実施する。 ・ペアレント・トレーニングや家庭支援のための勉強会を導入し、家庭での支援力向上を支援する。
3			